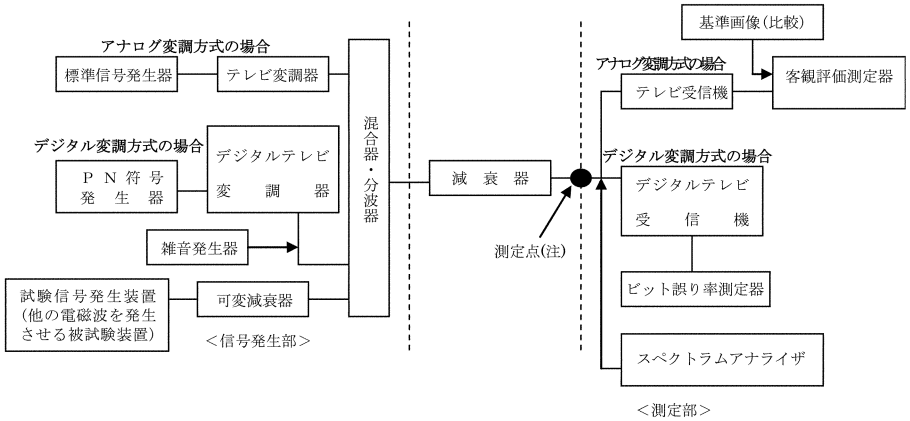
別図第一号　隣接チャンネル妨害の評価試験系統図

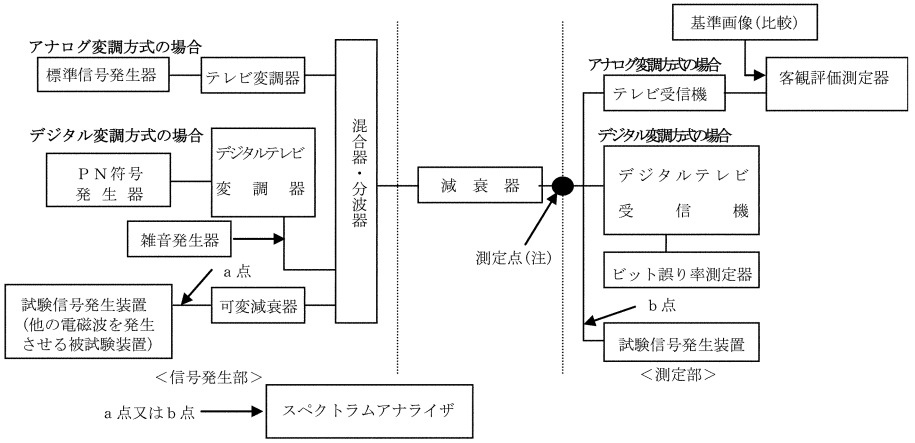


注　測定点は、以下のとおり設定するものとする。

1　アナログ変調方式の場合は、有線放送設備において、搬送波と雑音のレベル差（以下「ＣＮ比」という。）が最も大きい受信者端子又はそれ以上のＣＮ比となる地点。

2　デジタル変調方式の場合は、有線放送設備において、ＣＮ比が最も小さい受信者端子又はそれ以下のＣＮ比となる地点。

別図第二号　スプリアス妨害の評価試験系統図

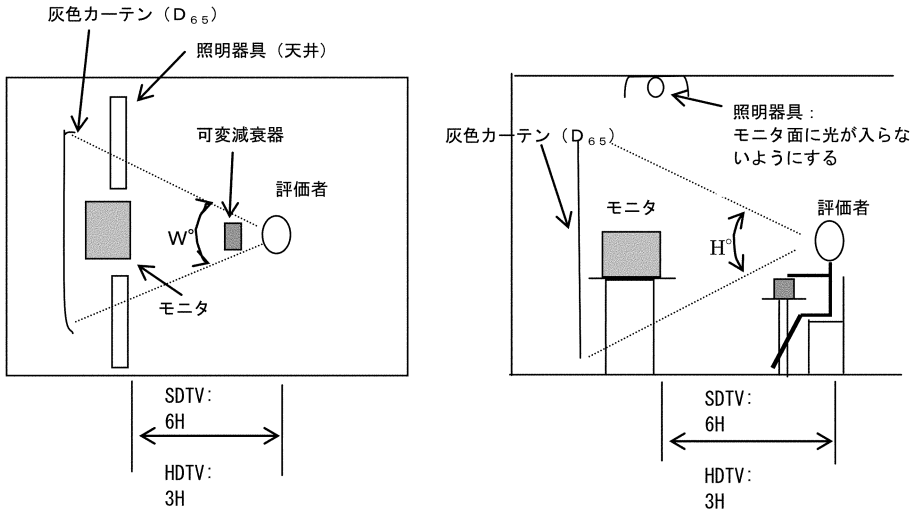


注　測定点は、以下のとおり設定するものとする。

1　アナログ変調方式の場合は、有線放送設備において、ＣＮ比が最も大きい受信者端子又はそれ以上のＣＮ比となる地点。

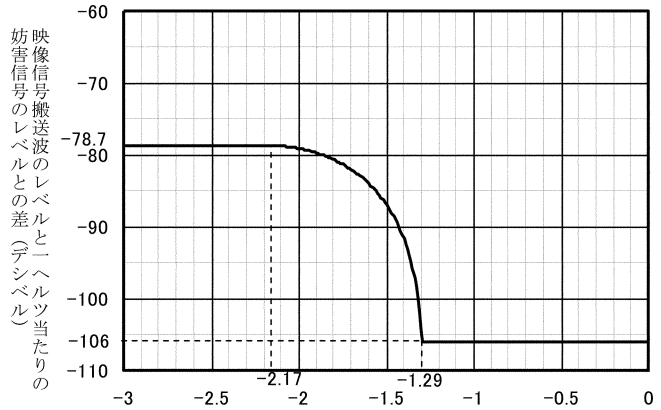
2　デジタル変調方式の場合は、有線放送設備において、ＣＮ比が最も小さい受信者端子又はそれ以下のＣＮ比となる地点。

別図第三号　観視概略図



＜上から見た図＞　　＜横からみた図＞

別図第四号　標準テレビジョン放送方式の下側周波数のスペクトルマスク



映像信号搬送波の尖頭値を基準値（０dB）とする。